



報道関係各位
プレスリリース

2011/8/22
コンデナスト・ジャパン

『GQ JAPAN』2011年10月号(8月24日発売)特集

音楽が人生を変える、世界を変える!? 進化するレジェンド、YMO が登場！

-レディー・ガガ、ジャスティン・ティンバーレイク、ビョーク、U2…etc.
デジタル時代のアーティストサバイバル術。

-追悼 エイミー・ワインハウスがこの世に遺していったもの。

『GQ JAPAN』10月号は音楽をテーマにお届けします。表紙&カバーストーリーには、日本が世界に誇るテクノ・スーパースター、YMO ことイエロー・マジック・オーケストラが登場！

6月末、実に31年ぶりにアメリカでのコンサートツアーを敢行し大成功を収めたYMO。東日本大震災以降、3人揃っての活動を精力的に行っている彼らの対談では、結成当時の懐かしい思い出、今回のツアーで訪れたハリウッドやサンフランシスコでの話、そして日本復興のために作られた新曲『火の鳥』が生まれたエピソードなど、現在までの彼らの進化の軌跡が語られています。

カバーストーリーのトップでは、名アルバム『ソリッド・ステイト・サヴァイヴァー』のジャケットを彷彿させるフォトも掲載。年を重ねてなおスタイリッシュな彼らの3ショットは必見です！

■CDが売れないといわれるミュージック暗黒時代を乗り切る術とは？

音楽界をリードするトップランナーたちの生き残り術をケーススタディで紹介。トロイ・カーターというビジネス参謀のもと、アマゾン、ギルト、フェイスブック、グーグルといったサイバースペースを有効に活用しているレディー・ガガ。映画『ソーシャル・ネットワーク』でナップスター創業者を演じたジャスティン・ティンバーレイクは、投資家としてマイスペースの筆頭株主に。既存のアルバム形態を覆し、アプリでアルバムをリリースするビョークや、数多くのショーを軒並みソールドアウトさせ、“地球上で最も稼いだアーティスト”のU2など、成功しているアーティストたちの戦術に迫ります。

また、『未来型サバイバル音楽論』の著者でもある牧村憲一氏に聞いた「3.11後の音楽の行方」から、極上のサウンドを届ける高音質オーディオ30選、類い稀なプロデュース力をもつ天才ウィル・アイ・アムのインタビューなど、読み応えのある記事が満載です。

■イギリスが誇るべき才能、エイミー・ワインハウス。

7月23日にこの世を去ったエイミー・ワインハウス。素晴らしい音楽を遺したアーティストでありながら、アルコールやドラッグなどセンセーショナルなゴシップの中心人物だった彼女の短い音楽人生を、タワーレコード発行のフリーペーパー『bounce』編集長・出島孝次氏が語ってくれました。

■時計も新機軸の選びが必要だ！ 別冊付録「GQ WATCH 2011」

10月号の別冊付録は、8月20日(土)より日本橋三越本店で開催される三越ワールドウォッチフェア(WWF)との連動企画です。スポーティ、ビジネス、エレガントなどのジャンル別の最新時計レポートをはじめ、WWF 先行・限定発売モデルの完全リストなど充実の内容。

■名門テレビ局 BBC が自然に挑む理由。

近年イギリスの放送局 BBC が掲げている戦略の指針「質の高さ」において、強力なコンテンツとして重きを置いているのがネイチャードキュメンタリー。『GQ JAPAN』はグローバルブランド「BBC Earth」や洗練された撮影手法についてなど、9月に公開される映画『ライフ-いのちをつなぐ物語-』の制作陣を中心に、ロンドンの BBC 社内を独占取材しました！ 読み応えのあるレポートをお楽しみください。

■ そのほか、『GQ JAPAN』10月号の特集は、以下のとおり。

- ・壮麗優美のグレートーンで創る、新紳士像。
- ・新生クラッチに注目！最新&厳選 10。
- ・死ぬまでに行きたい世界のスパ。
- ・若手実力派ナンバー1 女優、ジェニファー・ローレンスの素顔。

ほか



GQ JAPAN 2011 年 10 月号 Photo: Kazunali Tajima @ MILD inc (c) GQ JAPAN. All rights reserved.

【GQ JAPAN】

1957年に米国で創刊し、現在18カ国で発行される、クオリティ・ライフスタイル誌『GQ』の日本版。知性・品性・感性を備え、本質にこだわる男性のための月刊誌として、2003年に創刊。時代に影響を与えた各界の男性たちを毎年年末に表彰する「GQ Men of the Year」も好評。今年創刊8周年を迎えた。

編集長代理：竹内 大(たけうちだい) / 発売：毎月24日 / 定価：580円(税込) / 発行：コンデナスト・ジャパン
インターネットへの掲載の場合、

次のURLを掲載の上、リンクしてください。 <http://gqjapan.jp/latest> (最新号情報は、8/23(火)更新)

本件に関する報道関係の方からのお問い合わせ先

GQ JAPAN マーケティング部 担当：滝口 TEL: 03-5485-9327 FAX: 03-5766-3010